

◎目的を実現するために必要なもの

ところが、これは自分ひとりでない——みんなそれだと思うんですが——ややもすると、この目先のいろいろのものに拘泥して、案外、方向が違って行って、手段を目的のように取り違えるのが、ほとんどの、現在の、現在までの世界の人達の、どうにもそういう社会が出来なかった原因だと思う。また、そういう目的に気づきながらも、また方法を知らないために、いつまでも堂々めぐりで、おんなじようなことをして、ちょっとその目的の方へ行っていないと、まあ、こういうのが実状だったと思うんですが。

まあ研鑽によって、そういうことが、そういう目的へ急速に近づいていけるという方法がを見つけ出されてきて、その方法を実行することによって、ぐんぐん実績が上がってきた。今までは、「お金を儲けたら幸せになる」、こういうふうに思ってた人も、「鶏飼うのもやはりお金儲けの目的で」ってそういう程度でおった人達も、「だいぶ目標が誤っておった」ということに気づく人が多くなってきた。また、その目的のための、お金儲けのための鶏を飼うと、鶏を飼うについても、その目的が違っているが故に着眼点が違ってくる、鶏飼うのはお金儲けが目的だと、こういうふうに……。

そして実は、いったんお金が儲かっても、やはり「あっ、これでなかったな」と気づく人が少ないほど、一つの観念が入り込んでいた、と。そういうことも気づかれて、「なるほど、鶏でない、目的は鶏でない」と。

鶏飼うについても、エサやとか鶏種だとか、或いは設備だとか、そういう問題や技術の必要性は分かるが、それよりもっと大事なことは、その本当の目的の達成のために、自分自身の幸せのために、そういう技術(とか)そういうものを追うものでなしに、お金を追うものでなしに、やはり鶏を飼うにしても、何するにしても、効果的に目的へ近寄っていくためには、やはりそれより先にまず飼う人の問題、養鶏する人の問題、そこが基本になる。その人が目的をはっきり知る、それにはどうあるか——こうなってくる。

そうすると、現象面よりまず先に心の世界、無現象のというか、心の状態がどうあったなればいいのか、ということ。

それから、経営するにしても、その本当の目的、やはり心の世界、まずそれが肝心で、みんなの幸せのためにという、そういう目的のために、そういう心境で経営計画を立てる。それから技術もそこへ織り込んでいく。

技術は要らないというわけではないですけど、「技術さえ覚えたら鶏は飼える、お金が儲かる」、こういうふうに思っていた人が、「そうではない」と。やはり飼う人自体が、みんなの幸せ——自分の幸せでなしに——みんなの幸せを願ってという、そういう気持になって、頭で分かったでなしに、それが実行できる人になって、それからその次に、そうするにはやはり技術も大事だが、自分になっただけでなしに、社会も周囲もそういうふうに、目的のためには自分だけでなしに、自分一家だけでなしに、(自分だけ)ではいけないということも分かってくる。みんなが仲良く楽しく繁栄していくのには、自分だけでは、(そこに)とどまっては駄目だ。今度は社会の、そういう社会周囲の必要性ということも分かった。それじゃあ社会をつくろうじゃないかと。そういう、困いのない、本当に世界が一つになって、仲良く繁栄していく、そういう社会をつくろうと。そのためには、自分の財産だとか自分の考えというものを固持しないで、みんな広場へ出して、そしてみんなの知恵と力で活かしていこうと。物も最大に活かしていこうと。まあ、こういう気持ちの現れが今日の地方での実顕地なり、春日の試験場の段階的な現状だ。そこまで来られたと思うんですね。